



# 日本洋書協会

JAPAN ASSOCIATION OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

FEBRUARY 2018

会報誌 vol. 52 no. 2

【訂正版】

Published by JAIP 1-1-13-4F, Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

e-mail:office@jaip.jp

## 新年賀詞交歓会

山田 仁 (アシェット・ジャポン)

みなさまこんにちは、今期より文化厚生委員会の長を務めさせていただきますアシェット・ジャポンの山田と申します。どうぞよろしく申し上げます。文化厚生委員会では、今年も皆さんに大いに楽しんでいただけるようさまざまな企画を考えてまいりますので、ぜひともふるってご参加くださいませ。

まずは文化厚生委員会新年一発目の企画となります、恒例行事、新年賀詞交歓会について報告させていただきます。去る1月12日、西麻布の国際文化会館にて開催されました。参加者は、昨年よりもやや減って31社62名の参加となりましたが、それでも熱気にあふれた会となりました。新年の忙しいなか集まりいただきありがとうございます。

例年通り、会は理事長の挨拶から始まりましたが、理事長の(株)MHMのマーク・グresham氏は、冒頭、洋書協会の「改革」を訴えました。新年らしい意気込んだ内容の挨拶となりました。

「改革」ということですので、このレポートも例年通りの無味乾燥な報告ではなく、皆さんに来年はぜひ参加してみたいとちょっとでも思わせるようなレポートにしたいと思い、書き始めてみましたが、とはいえ、いきなりの注文だったこともあり、かわした会話を思い出せるはずもなく、同じく他の委員にも聞いたところ同様に、思い出せる話は肉体改造の話しかしないということで、ろくな報告ができません。次回からはもう少し情報交換の様子などを伝えていければいいなと思っています。次回にご期待ください。

とはいえ肉体改造話も重要な情報交換です。なかなか若いメンバーに恵まれない洋書協会にとっては、毎年、歳をとっていく会員の皆さまが健康で長く仕事を続けられるということも大切なことです。いっそ洋書協会でもマラソン大会でも企画して、健康促進をはかるというのでもいいかもしれません。いま

定期的に行なわれているのはボウリング大会だけです。ほかにもさまざまなスポーツ企画があってもいいかもしれません。

さて、私はというと、パーティの準備をしながら、文化厚生委員でありますタトル出版(株)の倉上氏と昨今のオン・ジャパン事情について話をしていました。この会報でも連載がはじまりましたように、オン・ジャパンは、インバウンドのいい影響を受け、好調とのことです。紀伊國屋書店新宿本店の1Fを新刊・雑誌のフロアからオン・ジャパンの洋書フロアにするというニュースは記憶に新しいことと思います。この調子で洋書業界にもいい影響が及んでくれるといいなと期待をしています。

会場では、同業の(株)フランス図書の近藤社長がいらしていたので、今後一緒になにかやれないだろうかという話をしていました。かつてはゲーテ書房もいて、諸外国語も存在感は多少なりともあったかもしれませんが、いよいよフランス語だけになってしまふとなかなか肩身が狭いですね。とはいえ、オン・ジャパンの好調に見られるように、来日する外国人の数は毎年増え続けています。それにともない、国内に留まるフランス人やその他の国籍の外国人も増えてきていることも事実です。こうした人々に対して有効な情報発信ができればインバウンドの影響を受け止めることができるのかもしれません。

そのようなことを思いつつ、報告も最後になりましたが、締め挨拶は、今年、理事になりました(株)三善の阿部社長にお願いをしました。阿部氏もマーク理事長の「改革」の言葉を受けて変化を訴え、会員各社の活躍と各員の健康を祈念して一本締めで会は終了しました。皆さま、お疲れさまでした。今度はサマーパーティでお会いしましょう！

(写真はP.5に掲載)

## 海外ニュース

### New York Times 誌が選ぶ 2017 年ベストブック 10 冊

ニューヨークタイムズ誌の編集者たちが選ぶ2017年のベストブック10冊を紹介する。

**Ali Smith, Autumn, Penguin, 2017**

(ISBN: 9780241973318)

アリ・スミス (1962-) スコットランド出身の作家。アイルランドの作家 セバスチャン・バリーは、スミスのことを「スコットランド人の有名なノーベル賞候補」と評している(Wikipediaより)。Autumnは、「老齢の作詞家と隣家の片親家庭のませた子供の交流がこの小説の核で、物語は1960年代からプレグジットのころまでを行ったり来たりする。四巻シリーズの第一作目。」岸本佐知子の編集した『変愛小説集』にスミスの「五月」という短編が収録されている。

**Mohsin Hamid, Exit West, Riverhead Books, 2017**

(ISBN: 9780735212176)

モーシン・ハミッド (1971-) パキスタン出身の英語作家。プリンストン大学卒。「内戦から逃れたカップルの物語は、流浪する移民の心理について深い瞑想を促す。』『コウモリの見た夢』という邦題で翻訳されたThe Reluctant Fundamentalistは、ベストセラーになり、プッカー賞最終候補に残った。

**Min Jin Lee, Pachinko, Grand Central Publishing, 2017**

(ISBN: 9781455563920)

イミンジン (1968-) 韓国系アメリカ人の著述家。「このすぐれた小説は、四世代にわたる韓国人家族の年代記であり、20世紀初頭の日本統治下の韓国からはじまり、第二次世界大戦前から1980年代後半までの日本での日々を描いている。」

**Naomi Alderman, The Power, Penguin, 2017**

(ISBN: 9780670919963)

ナオミ・オルダーマン (1974-) イギリスの作家。「突然、女性が破壊的な超能力を持ったことで、男女の性差の力学がひっくり返る」世界を描いたSF小説。本作でベイリーズ女性文学賞を受賞。オバマ前大統領の「2017年に読んでよかった本」リストに載った。また、2006年出版のDisobedienceは映画化されている。

**Jesmyn Ward, Sing, Unburied, Sing, Scribner, 2017**

(ISBN: 9781501126062)

ジェスマイン・ワード (1977-) アメリカの作家。Salvage the Bonesと本書で二度の全米図書賞受賞。「13歳の少年ジョジョが、妹とドラッグ中毒の黒人の母親とともに刑務所から出所する白人の父親を迎えに行く旅をする」話。

**Richard O. Prum, The Evolution of Beauty: How Darwin's Forgotten Theory of Mate Choice Shapes the Animal World --- and Us, Doubleday, 2017 (ISBN: 9780385537216)**

リチャード・プラム (1961-) イェール大学の鳥類学者。「もし、常識を覆し、自分の体に対する—そして鳥たちに対する—考え方を

変えるような科学の本があるとするれば、この本がそうだ。鳥類学者のプラムは、ダーウィンの、往々にして見落とされがちな性淘汰の理論を擁護している。ダーウィンは種が環境に適合して進化するとしながらも、種の形成には別の要素も働いていると考えていた。すなわち、雌によってなされる美しさという基準による雄の選択である。」

**Ron Chernow, Grant, Penguin, 2017**

(ISBN: 9781594204876)

ロン・チャーナウ (1949-) アメリカの著述家。大ヒットのプロードウェー・ミュージカル「ハミルトン」の原作者が、アメリカ史上最悪の大統領と言われる第18代大統領ユリシーズ・グラントの一生を描いた。「経済的不平等が19世紀の金ぴか時代を思わせると言われ、白人至上主義の人々が新たな脅威となっている今、グラントの勇気ある行動は評価に値するし、そういう意味で本書は歴史的教訓であり、今の時代の鏡でもある。」チャーナウは『アレグザンダー・ハミルトン伝』や『モルガン家:金融帝国の衰退』などの邦訳が出ている。歴史上の人物を丹念に調べ、新たな観点から従来とは異なる人物像を鮮やかに描き出すという点で、「米国の司馬遼太郎」と評するネットの声もある。

**James Forman Jr., Locking Up Our Own: Crime and Punishment in Black America, Farrar, Straus and Giroux, 2017 (ISBN: 9780374189976)**

ジェームス・フォーマン・ジュニア (1967-) アメリカの弁護士。Yale Law Schoolの教授。「元国選弁護人の著者は、1970年代から登場しはじめた黒人公務員の世代が、いかにその国の首都で頻発する暴力と薬物使用の危機と闘ってきたかを論じている。」

**Caroline Fraser, Prairie Fires: The American Dreams of Laura Ingalls Wilder, Metropolitan Books, 2017**

(ISBN: 9781627792769)

キャロライン・フレイザー: アメリカの著述家。西部開拓移民の一家として過ごした少女時代を描いた『大草原の小さな家』シリーズの著者ローラ・インガルス・ワイルダーの伝記。アメリカ西部開拓史に全く新しい視点をもたらしている。

**Patricia Lockwood, Priedtdaddy, Riverhead Books, 2017 (ISBN: 9781594633737)**

パトリシア・ロックウッド (1982-) アメリカの詩人。「この愛にあふれた、微笑ましい自叙伝でロックウッドは、バチカンから特免を拝受したローマカトリック教会司祭の父をはじめとする家族の物語を紡いでいる。」

(写真はP.5に掲載)

(New York Times誌のThe 10 Best Book of 2017の記事を元に、筆者が著者の情報などを適宜加え、カッコ部分を抄訳しました。)

情報提供: MHM 遠藤尚子

# わたしの職場

## リレー連載 ● 第1回

### — 丸善雄松堂 外国雑誌・eリソースセンターの仕事紹介 —

「リレー連載 わたしの職場」に執筆の機会を頂きありがとうございます。このコーナーは「洋書協会の若手、中堅社員がどのような仕事をしているのを知りたい!」という趣旨で始まる新企画だとお伺いしました。私の仕事は当社事業の中のほんの一部ですが、この原稿が同世代の皆様のご参考になれば幸いです。

私は入社してから、海外の電子ジャーナル、eBook、データベースの新規商材開発と販促企画立案に携わってきました。製品のご案内で直接お客様へお伺いする機会もありますが、主な業務は営業部門のサポートとしての役割になります。

新規商材開発では、マーケティングをもとに出版社と協議を重ね、国内の販促展開を検討します。その際に心がけているのは、様々なお客様の声を聞いて出版社に伝え、国内の事情に合った商材開発につなげることです。お客様のお声を伺う際には、営業が日頃から収集しているお客様情報をもとに検討しますが、分野や市場を問わず全国のお客様に協力を仰ぐことができるのは、新規商材開発における当社の強みであると感じています。海外の評価がそのまま国内で受け入れられる場合もあれば、想定していなかったニーズが見出される場合もあり、製品の新しい魅力を次々と発見できるときが、新規商材開発の中で一番ワクワクします。その他には、コンソーシアム交渉も担当しています。(写真は提案説明会で発表している場面です。)(写真はP.5に掲載)交渉を重ねた結果、出版社とお客様双方にとって良い提案をまとめることができたときは、担当してよかったと思える瞬間です。

販促企画では、営業部門が製品をお客様にご案内するための後方支援をしています。カタログ作成や学会展示、広告によって製品の利点を広く伝える取り組みを行っています。加えて、ご契約いただいた製品の利用説明会やセミナー開催も担当しています。印象的だったのは、利用説明会に参加した学生様が、データベースの概要説明部分では興味がなさそうな様子だったのが、自分の研究テーマや指導教

員の研究結果が検索事例として表示されると目の色が変わり、自発的に検索を始めることです。あらかじめ用意された構成に沿うだけでなく、よりご利用者様のことを思って工夫することが大切なのだなど実感した出来事でした。そのような姿を見ると、日本の研究者がこれからもより良い環境で研究を継続できるように、代理店としてできることを考え続け、少しでも貢献できる存在でいたいな、と頑張るモチベーションになっています。

これらの業務は私だけが携わっているのではなく、同世代のメンバーで分担しているので、成功事例やトラブル等、お互いの経験を共有して協力しながら業務を行っています。同世代なので同じようなところをつまずくこともあります。へこんだ時に励ましあえる仲間はとても心強い存在です。そして迷ったときに指針を示してくれる上司や、豊富な経験を持つ先輩が相談相手になってくれるので、思い切ってアイデアを相談できる環境があり、もっと自由な発想で挑戦していくことが、周りから期待されている役割だと考えています。

今は、先輩方の海外経験やコミュニケーションスキル、そして俯瞰的な考え方などに憧れることが多いですが、それと同じくらいの気持ちで、私が経験してきた楽しさややりがいを後輩に伝えて、感動を共有できる仲間を増やしたいと考えています。それは社内に限らず、洋書協会の若手、中堅社員の方とも共有できたらうれしいですし、この原稿がそのきっかけになれば幸いです。

最後になりましたが、今回私にお声がけくださった、担当理事の細谷様、メディア・広報委員会の遠藤委員長に感謝申し上げます。

丸善雄松堂株式会社 学術情報ソリューション事業部  
外国雑誌・eリソースセンター

神保恵美

# 我が社・わが街

## 第13回 春日・小石川

ワイリー・ジャパン

海老根紳二

当社のオフィスがある小石川へは、今から約10年前にWiley社とBlackwell社の合併を機に移ってまいりました。小石川は都営三田線の春日駅と白山駅の間に位置し、オフィス街というよりは、住宅街になります。従って飲食店は少なく、やたらとコンビニとドラッグストアの多い街です。こんな春日・小石川周辺には隠れ観光スポットが点在し、今回はそのいくつかを紹介いたします。

### 源覚寺(別名:こんにやく閻魔)

源覚寺は、寛永元年(1624年)、定誉随波上人により現在の地に開創されました。閻魔さまは、冥界にあって亡くなった人の生前の罪業を裁断する十王のうち、最も知られているひとりです。源覚寺の閻魔さまの右目部分は割れて黄色く濁っています。それにはこんな言い伝えがあります。宝暦年代のころ(1751年～1764年)、眼病を患った老婆が閻魔大王に21日間の祈願を行ったところ、夢の中に大王が現れ「願掛けの満願成就の暁には、私の両目の内、ひとつを貴方に差し上げよう」と言われたそうです。そして満願の日に、老婆の目は治りました。以来、大王の右目は盲目となったそうです。老婆は感謝のしるしとして好物の「こんにやく」を断ち、それを供えつづけたということです。このことから、源覚寺の閻魔さまは「こんにやく閻魔」と呼ばれるようになり、眼病治癒の閻魔さまとして人々の信仰を集めています。

### 小石川植物園

東京大学大学院理学系研究科附属植物園という名前が正式名称らしいのですが、一般的には小石川植物園という名で呼ばれ親しまれています。その名の通り、植物学の研究・教育を目的とする東京大学の教育実習施設です。またこの植物園は日本で最も古く、また世界でも有数の歴史を持つ植物園の一つです。約320年前の貞享元年(1684)に徳川幕府が設けた「小石川御薬園」がこの植物園の遠い前身で、明治10年、東京大学が設立された直後に附属植物園となり一般にも公開されてきました。この植物園の中で、特に話題になった植物が世界最大の花「シヨクダイオオコンニャク」です。インドネシアのスマトラ島だけに生育する希少植物であり、高さ3メートル、直径1メートル以上の大きさで、開花時には強烈な悪臭を放つそうです。最後に咲いたのは2010年で、このときには2万人が異臭を嗅ぎに(?)訪れたそうです。

現在、春日・後楽園地区は再開発が進んでおり、大型マンション、商業施設、オフィスビルが2021年を目途に完成する予定です。オフィスの周辺には飲食店が少なく、今回の再開発を機に増えてくれることを切に願う筆者です。

## お知らせ

### ■ 公告

- ・2018年度の総会は5月25日(金)午後4時30分から国際文化会館で行う
- ・2018年のサマーパーティーは7月13日に第一ホテル東京(新橋)で行う(予定)

### ■ 訃報(2017～2018)

2017年6月23日

西山洋書(株) 代表取締役 西山 久吉氏 享年73歳

後任には 西山幸児氏が就任いたしました

2017年12月4日

(株)マテマティカ 代表取締役 福本 理氏 享年92歳

後任には 福本哲氏が就任いたしました

2018年1月20日

大洋交易(株) 代表取締役社長 和田 茂氏 享年71歳

後任には 和田ゆみ氏が就任いたしました



新年賀詞交歓会



新年賀詞交歓会



海外ニュース



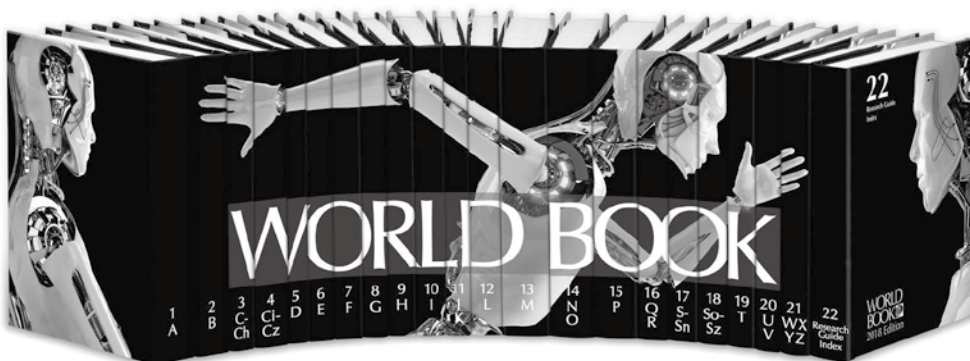
わたしの職場



我が社・わが街



我が社・わが街



 WORLD BOOK

ワールドブック百科事典 2018年版 全22巻

**The World Book Encyclopedia, 2018 22 volume set**

Every year, *World Book's* editors refresh the encyclopedia by adding timely new articles and revising articles of continuing relevance. This set provides readers with a tangible experience that can help build a foundation for the mastery of research skills.

*World Book* combines technology with traditional editorial excellence to produce authoritative, trustworthy and unbiased information. The content is carefully curated and meticulously written to be easily understood. *World Book* publications help to build fluency and increase comprehension. Illustrated with attention-grabbing photos, useful diagrams and maps, the books are designed to engage even the most reluctant reader. This collection of resources kindles a lifelong learning habit for every reader. *World Book's* adherence to clarity, currency and accuracy make *World Book's* print offerings an information necessity in the classroom, library and beyond.

2018年刊 14,000 pages Hardback 9780716601180

在庫限定特別価格 ¥150,000 (本体価格)

\* 弊社在庫がなくなり次第、特別価格は終了となりますので、あらかじめご了承ください。



1-1-13-4F Kanda Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

Tel: 03-3518-9181 Fax: 03-3518-9523

日本洋書協会会報 vol.52 No.2(通算551号) 発行日2018年2月1日 編集者 遠藤 尚子

発行所 日本洋書協会 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-13 (株)MHM内 TEL 03-3518-9631 FAX 03-3518-9523

URL:<http://www.jaip.jp> E-mail:[office@jaip.jp](mailto:office@jaip.jp)